

作物生産効果の内訳と工種との関係

効果要因		対策工種	用水改良 (畑かん を除く)	排水改良	畑かん	内容	作物区分			
							水稻	畑作物		
作物生産効果	被害防止効果	干害防止効果		○	-	-	用水改良により、用水不足に起因する被害を防止することによって増収する効果。	○	-	
		水害防止効果		-	○	-	排水改良により、排水不良に起因する被害を防止することによって増収する効果。	○	○	
		水質汚濁防止効果		○	-	-	用水改良により、用水の水質汚濁に起因する被害を防止することによって増収する効果。	○	-	
		冷害防止効果	冷水温防止効果	○	-	-	水温上昇施設の整備、漏水田に対する客土等により、冷水温に起因する被害を防止することによって、増収する効果。	○	-	
			深水効果	○	-	-	深水かんがいにより、冷害を防止することによって増収する効果。	○	-	
		凍霜害防止効果		-	-	○	畑地かんがいにより、作物体を保温し凍霜害を防止することによって増収する効果。	-	○	
		塩害防止効果		-	-	○	畑地かんがいにより、作物体に付着している塩分若しくは土壌塩分を除去することによって増収する効果。	-	○	
	風食防止効果		-	-	○	畑地かんがいにより、土壌粒子の飛散移動、肥料の消失等の風食被害を防止することによって増収する効果。	-	○		
	単収増加効果	立地条件好転効果	水管理改良効果		○	○	-	区画整理に伴う用排水分離により、中干し、間断かんがい、適期落水等の水管理作業が計画的に行われることによって増収する効果。	○	-
			乾田(畑)化効果		-	○	-	湿田(畑)又は半湿田の乾田(畑)化により、土壌の理化学性の改良及び湿害を防止することによって増収する効果。	○	○
			土層改良効果		-	-	-	客土等により、浅耕土農地、漏水田等を改良することによって増収する効果。また畑地帯において不良土層の構造を改善することによって増収する効果。	○	○
		田畑輪換効果		○	○	-	田畑輪換により、土壌の理化学性の改良、連作障害の防止、病害虫の抑制、雑草の抑制が図られることによって増収する効果。	○	○	
		作型転換効果		○	-	○	同一作物の作型を変えることによって増収する効果。	○	○	
		湿潤かんがい効果		○	-	○	畑地かんがいを計画的に行うことによって増収する効果。	-	○	
		除塵効果		-	-	○	畑地かんがいにより、砂塵が作物体に付着するのを防止し又は作物体に付着している砂塵を除去することによって増収する効果。	-	○	
		連作障害防止効果		-	-	○	湛水すること等により、集積した塩類、根の分泌物等を除去し、土壌線虫類・植物病原菌を減少させ、連作障害を防止することによって増収する効果。	-	○	
		水食防止効果		-	-	-	排水路の整備等により、表流水による作土の流亡を防止することによって増収する効果。	-	○	
		防塵効果		-	-	○	農道の舗装により、砂塵の発生を軽減することによって増収する効果。	-	○	
		作付増減効果	作付増減効果		○	○	○	作物の作付面積の増減によって生産量が増減する効果。	○	○